

校章



【起案】中島 実（初代校長） 【デザイン】長野 英（鹿児島市教委指導主事）

全体の形から鳥のはばたきを感じさせるが、これは昭和34年本校が鴨池中学校から分離独立したことから鴨の形をかたどり、中学校の中の字をあらわす。

口にあたる場所は、ローマ字のMであり、この形には、新設校として発足する南中の無限の発展をあらわし、∞（無限大）の意味もこめられている。

真ん中の台形は、いうまでもなく桜島を象徴し、雄大で情熱的な南中の発展を願ったものである。

南の文字を中央に置き、丸みを持たせたのは、全体的な調和とともに、円満で安定感のある南中を築こうという意欲がこめられたものである。

校歌

一、南に開く 錦江の
潮の香かよう わが学園に
風は緑に かぎりなき
真理の道を 窮めんと
集う瞳の色澄めり

二、紫原に 雲高く
日は輝けり わが校庭に
闘魂いよよ 火と燃えて
心も身をも 鍛えんと
競う力の 花薫る

三、桜島山こめて 夕ばえの
紅つつむ 学び舎に
自主協調の 誠もて
日本のあすと 築かんと
結ぶ理想の 夢豊か

学校風景



中庭の桜



生徒会入会式



中庭コンサート